

栃木県立宇都宮白楊高等学校行動計画

| 10の行動計画                         | 推進計画                                                                                                                                                   | キーワード           |
|---------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| ①「生徒一人一人を一層輝かせ成長させる」教育を行います。    | ①農業クラブ主催各種競技会に積極的に参加し、全国入賞を目指します。<br>②各種資格取得を推奨し、合格者数の増加および検定合格率の向上を目指します。                                                                             | アグリマイスター顕彰      |
| ②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。       | ①JICA主催の農業講演会や作文コンクールに参加し、国際的視野を養います。<br>②農産物の海外輸出を目指した教育や講演会を実施します。                                                                                   | グローバル教育         |
| ③「地域農業の生産を支える」教育を行います。          | ①食品製造原料の調達先として、地域農家と連携協力する機会を設けます。<br>②宇都宮市の地域伝統農作物である「新里ネギ」「エソジマモチ」の栽培復活プロジェクト研究を通して、地域農業活性化に貢献します。<br>③デュアルシステムおよびGAP教育・GAP認証取得を推進し、地域農業の担い手育成に努めます。 | 生産技術・経営         |
| ④「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する」教育を行います。 | ①県産原料を用いた味噌やジャム等の食品製造実習を行います。<br>②酒米を栽培し、地域農家（柳田酒米研究会）および酒蔵（宇都宮酒造）とともに商品化を図ります。                                                                        | 地域産業貢献<br>6次産業化 |
| ⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。          | ①地域の農業NPO団体（農人たち）と連携し、棚田の再生を図ります。<br>②特別栽培米（リンクT認証）の生産を行います。                                                                                           | 環境技術・創造         |
| ⑥「食農」教育を推進します。                  | ①地元小学校（今泉小）との農業交流や、学校給食での本校生産物の提供を通して、食農教育を推進します。<br>②キャリア形成支援事業を利用した食品製造実習・食育の実施を行います。                                                                | 食農教育            |
| ⑦「地域資源を活用する」教育を行います。            | ①「オリスクマーケット」へ定期的に出店し、本校生産物の販売や生徒発表の場として活用し、宇都宮中心市街地活性化に貢献します。<br>②絶滅危惧種の組織培養による保全活動を行います。<br>③有害鳥獣を多面的にとらえ、地域の有効資源として活用できないか調査研究します。                   | 資源活用            |
| ⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。           | ①地域（姿川）の外来種駆除を地元の団体と協力して実施します。<br>②「うじいえ自然に親しむ会」・高根沢町生涯学習課「どろんこ道場」等各種ボランティア活動へ参加します。<br>③宇都宮市緑化ボランティア・緑のまちづくり課等と連携し、農業専門学習を生かした地域活動の場を設けます。            | ヒューマンサービス       |
| ⑨「各種農業関係機関・団体と連携した」教育を行います。     | ①地域の農業関係機関・団体（清原・白沢地区）と協力して生物調査を実施します。<br>②「JAしおのや」・「高根沢町元気アップむら」などと連携し、畜産物の地産地消を推進します。<br>③保健所など外部講師を活用し、食品衛生・HACCP関連の教育を実施します。                       | 地域連携            |
| ⑩「地域防災を推進する」教育を行います。            | ①NFD（日本フラワーデザイナー協会）と連携した被災地支援活動を行います。<br>②二重がま・空き缶などを利用した非常時における炊飯実習や、保存食の学習を行います。                                                                     | 地域防災            |

栃木県立鹿沼南高等学校行動計画

| 10の行動計画                         | 推進計画                                                                                                 | キーワード           |
|---------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| ①「生徒一人一人を一層輝かせ成長させる」教育を行います。    | ①生徒が目的意識を持って資格取得等に取り組み、達成感を感じるとともに、進路実現につなげるために、アグリマイスター顕彰制度に積極的に取り組ませます。                            | アグリマイスター顕彰      |
| ②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。       | ①国際感覚を身につけた視野の広い人材を育成するために、「さつき」のEU輸出に向けた取り組みや国際水準GAPに関する学習を行います。                                    | グローバル教育         |
| ③「地域農業の生産を支える」教育を行います。          | ①高い技術と経営感覚を備えた地域の農業を担う人材を育成するために、伝統野菜の原種種子の提供、栽培技術の研究や優良なとちぎ和牛の育成・生産の学習を実践します。                       | 生産技術・経営         |
| ④「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する」教育を行います。 | ①地域産業の活性化に貢献するために、「板荷茶」の普及に向け地元企業と連携した菓子の製造、販売や鹿沼の特産品を利用した新しい製品の開発を行います。                             | 地域産業貢献<br>6次産業化 |
| ⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。          | ①環境の保全や創造についての意識向上と実践力を身につけるために、環境保全型の農業や適切な森林管理等についての学習を推進します。                                      | 環境技術・創造         |
| ⑥「食農」教育を推進します。                  | ①食や農業の大切さを理解させるために、農産物の販売会を定期的に行なうなど、食料の生産から加工・消費までの一貫した学習を実践します。                                    | 食農教育            |
| ⑦「地域資源を活用する」教育を行います。            | ①地域資源の新たな活用法を見いだす発想力や企画力を身につけさせるために、鹿沼土や間伐材の活用についての研究や商品開発に取り組みます。                                   | 資源活用            |
| ⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。           | ①地域交流の拠点となることを目指して、農産物の販売やボランティア交流などの取り組みを推進します。                                                     | ヒューマンサービス       |
| ⑨「各種農業関係機関・団体と連携した」教育を行います。     | ①農業後継者・農業関連企業への就業者育成をするために、学校と地域自治体や農林業団体で構成する「上都賀地区農林業教育連絡協議会」及び地元の企業や大学との連携を強化し、就農教育や研究活動の充実を図ります。 | 地域連携            |
| ⑩「地域防災を推進する」教育を行います。            | ①地域防災の意識を向上させるために、自然災害が及ぼす農業への影響と防災・減災対策についての学習を行います。                                                | 地域防災            |

栃木県立栃木農業高等学校行動計画

| 10の行動計画                         | 推進計画                                                                                                                                        | キーワード           |
|---------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| ①「生徒一人一人を一層輝かせ成長させる」教育を行います。    | ①科目「農業と環境」において、栽培に関する行程を個々の生徒が行えるよう配慮し、責任感や達成感を醸成します。                                                                                       | アグリマイスター顕彰      |
| ②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。       | ①ニュージーランド派遣農業研修への参加を推進し、研修終了後に全校生徒に対し報告会を実施するなど、海外の農業について知る機会を設けます。<br><br>②GAPに関する教育を通して、世界の農業について学習します。                                   | グローバル教育         |
| ③「地域農業の生産を支える」教育を行います。          | ①栃木市伝統野菜「宮ねぎ」の普及のための商品やレシピを開発します。<br><br>②農業の魅力ややり甲斐を見いだす教育を推進し、農業や関連産業に従事する生徒を増やす取り組みを実践します。                                               | 生産技術・経営         |
| ④「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する」教育を行います。 | ①地元の巨峰を桜酵母で発酵させたロゼワインの普及活動を実践します。<br><br>②周辺地域の特産物を活用した商品開発やレシピを考案する活動を推進します。                                                               | 地域産業貢献<br>6次産業化 |
| ⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。          | ①農業に用いられている圃場が、農産物を生産する場だけでなく多面的機能を有していること学習させ、圃場の整備や耕作放棄地の利用などを考える活動を推進します。                                                                | 環境技術・創造         |
| ⑥「食農」教育を推進します。                  | ①栽培や収穫などの農業体験を通して、農産物への感謝と食品ロスを無くす取り組みを推進します。<br><br>②規格外の生産物の活用方法や食品ロスを無くす取り組みを推進します。<br><br>③栃木市の農産物を利用したレシピを考案し、小学校との交流活動を推進します。         | 食農教育            |
| ⑦「地域資源を活用する」教育を行います。            | ①栃木市伝統野菜「宮ネギ」普及のためのレシピを考案します。<br><br>②周辺地域の特産物を生産し、地域の農業を知る活動を推進します。                                                                        | 資源活用            |
| ⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。           | ①園児・児童などの異校種や福祉施設等との農業体験交流を推進します。<br><br>②GAPを推奨し、地域農家への普及の援助をします。                                                                          | ヒューマンサービス       |
| ⑨「各種農業関係機関・団体と連携した」教育を行います。     | ①県や市、JAなどと連携し、先進的な農家や施設の見学研修、インターンシップなどを通して、農業への興味関心の向上を図ります。<br><br>②栃木市特産物の普及を推進するため、各種イベントに参加しPR活動を行います。<br><br>③宇都宮大学アグリカレッジへの参加を推進します。 | 地域連携            |
| ⑩「地域防災を推進する」教育を行います。            | ①学校周辺が土砂災害の警戒区域となっており、過去の災害をもとに安全マップ等を作成し、周辺住民や近隣小・中学校に配布するなどの活動を通して、防災や減災への関心を高めます。                                                        | 地域防災            |

栃木県立小山北桜高等学校行動計画

| 10の行動計画                         | 推進計画                                                                                                                  | キーワード           |
|---------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| ①「生徒一人一人を一層輝かせ成長させる」教育を行います。    | ①農業鑑定競技を見据え、幅広く実験実習を充実させるとともに指導体制を構築します。<br><br>②プロジェクト発表を見据え、考える農業を実践し、解決する研究活動を展開します。                               | アグリマイスター顕彰      |
| ②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。       | ①グローバルGAPを見据え、特定の農産物を安全安心に生産・販売する環境作りをします。<br><br>②足尾銅山の環境破壊から緑化や渡良瀬遊水池設置による環境改善まで地域環境の歴史について学び、世界の環境破壊や改善策について考察します。 | グローバル教育         |
| ③「地域農業の生産を支える」教育を行います。          | ①耕作放棄地の有効利用として地域で注目しているエゴマの苗を本校でつくり配布します。<br><br>②桑の実の収穫作業から、洗浄・冷凍保存まで手伝い、生産を支えます。                                    | 生産技術・経営         |
| ④「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する」教育を行います。 | ①エゴマの栽培を実施し、6次産業化としてエゴマ油を使用した加工品を開発します。<br><br>②桑の苗を栽培するとともに桑の実・葉を利用した加工品を開発し、地域に普及させます。                              | 地域産業貢献<br>6次産業化 |
| ⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。          | ①足尾銅山の緑化と渡良瀬遊水地の除草作業のボランティア活動を継続し、地域環境の改善に貢献します。<br><br>②思川桜を育苗し、地域に里親制度を導入した定植を実施し、景観の向上に貢献します。                      | 環境技術・創造         |
| ⑥「食農」教育を推進します。                  | ①小山市内小中学校への給食用食材を提供するとともに野菜の栽培の様子を写真等で伝えます。<br><br>②規格外の果樹や野菜を利用した加工食品を開発し、有効利用します。                                   | 食農教育            |
| ⑦「地域資源を活用する」教育を行います。            | ①絶滅危惧種トウサワトラノオの保全を通して地域環境の調査学習を行います。<br><br>②間伐材や竹を利用した炭の製造・販売を行います。                                                  | 資源活用            |
| ⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。           | ①絹義務教育学校の見学、支援学校や近隣小学校との交流授業を受け入れます。<br><br>②ジュニアキャリアアドバイザー事業を通して地域の方々と交流します。                                         | ヒューマンサービス       |
| ⑨「各種農業関係機関・団体と連携した」教育を行います。     | ①小山市農村整備課と連携し、地域へアジサイ苗の提供と植栽ボランティア活動を行います。<br><br>②小山市農村整備課と連携し、田んぼアートでの田植えを行い、交流を深めます。                               | 地域連携            |
| ⑩「地域防災を推進する」教育を行います。            | ①震災ボランティアを通して、防災に対する意識を高めます。<br><br>②消防本部危機管理課と連携し、防災訓練等を行います。                                                        | 地域防災            |

栃木県立真岡北陵高等学校行動計画

| 10の行動計画                         | 推進計画                                                                                                                                                                              | キーワード           |
|---------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| ①「生徒一人一人を一層輝かせ成長させる」教育を行います。    | ①各科で必要とされる資格の取得率を向上させるとともに、農業クラブの競技会や発表会で上位大会に出場する機会を増やし、生徒が活躍できる場を拡げます。<br><br>②大学進学や関連産業及び地元有力企業への進路先の拡充を図るとともに、生徒の進路を実現するための資質や技術を学び育て活躍できる教育を提供します。                           | アグリマイスター顕彰      |
| ②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。       | ①G－GAPを取得し、世界に通用する生産工程管理を農場に導入することで、食品の安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を学ぶ場を提供します。<br><br>②本校生産農産物を海外に輸出できる条件を整えることで、世界に向けた販路を視野に入れた農業経営感覚を身につけさせます。                                           | グローバル教育         |
| ③「地域農業の生産を支える」教育を行います。          | ①栃木県のイチゴの主力品種である「とちおとめ」「スカイベリー」「なつおとめ」を利用して、イチゴの周年栽培を行い、経営方法や栽培技術を地域に発信します。<br><br>②伝統的農産物の栽培や加工方法についての支援を目的に、栽培・加工技術等の改善や省力化について研究協力し、生徒が主体となって活動する場を提供します。                      | 生産技術・経営         |
| ④「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する」教育を行います。 | ①芳賀地区で生産量の多い「いちご、なす、トマト、ニラ、なし」等を利用した加工食品を開発・商品化・販売を行うとともに普及活動を行います。<br><br>②伝統的な和洋野菜等の農産物を栽培し、地元飲食店等に提供するとともに、商品開発や販売体験を行うことで消費者とつながり、地域の活性化に寄与します。                               | 地域産業貢献<br>6次産業化 |
| ⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。          | ①本校で生産される農産物において、化学合成農薬や化学肥料の使用量を削減し、環境負荷を軽減する栽培方法を実践し、環境を健全な形で維持する意識を高める場とします。<br><br>②環境保全機能としての農業の役割について、農業と環境、グリーンライフ、その他の農業科目において学び、根幹となる考え方を学ばせます。                          | 環境技術・創造         |
| ⑥「食農」教育を推進します。                  | ①本校で生徒が生産した農畜産物を食材とし、調理して食べる行事を行い、食事の多彩な役割の重要性を学び、併せて食を支えている農業に関する知識を体験を通して学ぶ場とします。<br><br>②農業の生産活動は、農畜産物の「いのち」を扱う活動であることをプロジェクト学習により学ばせ、感謝の気持ちを育成するとともに農業クラブ等の発表会などで生徒の考えを発信します。 | 食農教育            |
| ⑦「地域資源を活用する」教育を行います。            | ①農業士や農業技術に優れた農家、食品加工技術を持つ企業等と連携して農業教科の講師として招くことで、栽培や加工技術を向上させるとともに経営意識を身につけさせ、生徒の進路選択に役立てます。<br><br>②地域団体や施設との連携などを授業時間の中で取り組める活動とし、適正なカリキュラムマネジメントを行うことにより、生徒の地域活動機会を増やします。      | 資源活用            |
| ⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。           | ①社会福祉施設と連携してユニバーサル農業を本校福祉科と協力して推進します。<br><br>②地域小学校や中学校で出前授業を実施するとともに、交流活動を行います。                                                                                                  | ヒューマンサービス       |
| ⑨「各種農業関係機関・団体と連携した」教育を行います。     | ①農業振興事務所やJAとの交流・研修事業を行い、就農の方法や補助制度など、実践的な学習を行います。<br><br>②農業大学校と連携し、GAP取得の方法やGAP取得後の方向性などを視野に入れた研修事業を行い、教科指導に反映させます。                                                              | 地域連携            |
| ⑩「地域防災を推進する」教育を行います。            | ①学校危機管理マニュアルに従い、農場や農業実習時に即した防災マニュアルの作成を行います。<br><br>②本校が、災害時における真岡市の避難場所等に指定されていることから、防災時に提供できる本校農産物の活用方法を検討し、また、非常食の開発を行う事で、生徒の防災に対する意識を高め、地域防災に寄与します。                           | 地域防災            |

栃木県立那須拓陽高等学校行動計画

| 10の行動計画                         | 推進計画                                                                                                                | キーワード           |
|---------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| ①「生徒一人一人を一層輝かせ成長させる」教育を行います。    | ①アグリマイスター顕彰の資格取得を目指した指導を充実させます。<br>②学校農業クラブ連盟各種大会・共進会等で入賞を目指した指導を行います。                                              | アグリマイスター顕彰      |
| ②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。       | ①GAP教育の実践とHACCP取得を目指し、世界と日本をつなぐグローバル教育を実践します。<br>②農業クラブ主催NZ海外派遣研修に積極的に参加を推奨します。                                     | グローバル教育         |
| ③「地域農業の生産を支える」教育を行います。          | ①地域農産物の栽培の生産技術・経営の指導を通して、地域農業の生産を支える教育を行います。<br>②インターンシップで地域農業の生産を支える人材のキャリア教育を行います。                                | 生産技術・経営         |
| ④「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する」教育を行います。 | ①農業3学科の連携を深め、原料生産から農産物の加工販売まで6次産業化に寄与する教育を行います。<br>②食品化学科を中心として外部関連団体と連携し新商品の開発を目指します。                              | 地域産業貢献<br>6次産業化 |
| ⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。          | ①耕畜連携による持続可能な循環型農業を推進し、環境を守る教育を行います。<br>②農場内において環境学習・自然再生活動を推進し、地球環境を守り創造する教育を行います。                                 | 環境技術・創造         |
| ⑥「食農」教育を推進します。                  | ①収穫祭時、栽培米・飼育牛の試食により食料生産の意義、生命尊重を重視した食農教育を推進します。<br>②ジュニアキャリアアドバイザー事業・JAなすのとの共催「なっちゃんクラブ」「彩菜農業塾」活動を積極的に行い食農教育を推進します。 | 食農教育            |
| ⑦「地域資源を活用する」教育を行います。            | ①地域の農産物を活用した加工品の製造・販売を実践する教育を行います。<br>②世界灌漑施設遺産に登録されている那須疏水を利用した水稻栽培を行い、地域資源の歴史や利用について教育を行います。                      | 資源活用            |
| ⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。           | ①安心・安全な農産物・食品の生産・加工を行い、農産物即売会を実施し、地域交流の拠点となる教育を推進します。<br>②栃木県文化財・大山別邸をめぐる学習の地域交流拠点となる教育を推進します。                      | ヒューマンサービス       |
| ⑨「各種農業関係機関・団体と連携した」教育を行います。     | ①那須農業振興事務所と学普連携活動を積極的に行い、農業後継者の育成を行います。<br>②インターンシップ事業において、那拓高農業教育振興会（支援団体）・地域の農業関係機関・団体と連携を取り、キャリア教育を推進します。        | 地域連携            |
| ⑩「地域防災を推進する」教育を行います。            | ①避難訓練の実施し、災害時避難マニュアルの作成を行います。<br>②農作業の安全教育を行い、地域防災に貢献できる人材を育成します。                                                   | 地域防災            |

栃木県立矢板高等学校 行動計画

| 10の行動計画                         | 推進計画                                                                                                                                          | キーワード           |
|---------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| ①「生徒一人一人を一層輝かせ成長させる」教育を行います。    | ①アグリマイスター懸賞制度を活用しながら、生徒が目的を持って意欲的に学習に取り組むために、多様な学習ニーズにきめ細やかな対応をします。<br><br>②生徒が習得した農業に関する知識・技術・技能をフルに活用し、農業クラブ活動（各種発表・競技会等）に関する取り組みの活性化を図ります。 | アグリマイスター顕彰      |
| ②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。       | ①ニュージーランド派遣農業実習や北海道農業実習を通して、コミュニケーション能力や提案力、語学力を持った人材育成を図ります。<br><br>②農業留学生やワーキングホリデー等で訪日した外国人を受入れ、生徒との交流を図り、GLOBAL社会に対応できる人材育成に努めます。         | グローバル教育         |
| ③「地域農業の生産を支える」教育を行います。          | ①インターンシップやデュアルシステム等の地域農家実習を通して、農業経営者としての職業観、勤労観の育成を図ります。<br><br>②地域農業を鑑み、学校圃場における農産品目の見直しを行い、地域に根ざした農業教育を実践します。                               | 生産技術・経営         |
| ④「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する」教育を行います。 | ①インターンシップでの農業関連産業実習を通して、産業人としての職業観、勤労観の育成を図ります。<br><br>②地域特産品であるリンゴを利用した6次産業化に向けた取り組みを実施します。                                                  | 地域産業貢献<br>6次産業化 |
| ⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。          | ①学校で生産する有機質肥料（落ち葉や堆肥など）を有効に活用し、化学肥料使用量の低減を図ります。<br><br>②豊かな自然環境を有する学校圃場で、生徒の生態系への興味関心を高める学習を実践します。                                            | 環境技術・創造         |
| ⑥「食農」教育を推進します。                  | ①近隣の小・中学校や特別支援学校との交流を行うなかで、食農教育活動を実践していきます。<br><br>②総合選択制専門高校の利点を活かし、学科間連携を深め、他学科の生徒対しても農業体験や農業学習を促します。                                       | 食農教育            |
| ⑦「地域資源を活用する」教育を行います。            | ①地域の原材料を利用した加工品の提案や試験開発を推進します。<br><br>②地域資源を活用した加工品の販売や地域農家・関連産業との連携を目指します。                                                                   | 資源活用            |
| ⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。           | ①矢板市花の会やJR矢板駅と連携し、花壇交流等の環境美化活動を推進します。<br><br>②本校の施設や設備、備品（家畜）等を活用し、地域農家やPTAを対象とした農業講座の実施を目指します。                                               | ヒューマンサービス       |
| ⑨「各種農業関係機関・団体と連携した」教育を行います。     | ①大学や農業研究機関等との連携を図り、先進技術を学習内容に積極的に導入します。<br><br>②地域農家に先駆けてJ．GAP認証に向けて検討を進めます。                                                                  | 地域連携            |
| ⑩「地域防災を推進する」教育を行います。            | ①自然災害に関する理解を深め、地域と共に防災教育を推進します。<br><br>②局地的豪雨による表土流亡や排水溝の目詰まり等を回避するため、明渠・暗渠排水の整備を行います。                                                        | 地域防災            |